

地震

そなえていますか？

閩総務課（市役所2階） ☎ 88・1116

6月18日午前には大阪府北部で発生した地震の被害は大きく、7月1日現在でまだ避難所に避難されている方がいます。

また、今年は福井地震から70周年と節目の年を迎え、当時の被害などが新聞などでも報道されています。

今一度、地震に対しての心構えや備えが万全であるか見直してみましよう。また、勝山市が行っている総合防災訓練の様子から、どのように備えているかを紹介します。



地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが慌てずに適切な行動をすることが重要です。日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておきましょう。

災害から身を守るための行動指針

第1条 逃げ時

最新の情報と周囲の状況から、今しかない判断したときが逃げ時です。

第2条 逃げ道

あらかじめ、危険を考慮して決めた道が逃げ道です。

第3条 逃げ所

助かると思う場所は、どこでも、逃げ所です。

第4条 逃げ方

最悪の状況の中、最善の行動をとることが逃げ方です。

第5条 助け方

あなた自身が助かることが最善の助け方です。

お宅のブロック塀は大丈夫？

ブロック塀は、建築基準法などの安全基準に従って施工すれば強固な構造物ですが、大きな地震の際に倒壊被害が見られます。

きちんと施工されていない場合や劣化が進んで気づかないまま放置されている場合があります。構築後の年数、塀の高さ・厚さ、傾き・ひび割れの有無など、問題がないか確認してみましよう。

（社）全国建築コンクリートブロック工業会のホームページの「安心なブロック塀」の中にチェック表がありますので、ご利用ください。

木造住宅への耐震に関する補助事業

市では、木造住宅の所有者が耐震診断・補強計画を策定したり、耐震改修する場合に、その費用の一部を補助しています。

対象となる住宅に制限はありませんが、耐震への対策をお考えの方はご利用ください。

診断・補強計画の策定

対象者▼市税の納付が良好である方

対象となる住宅▼市内に所在する昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組工法、伝統的工法または枠組壁工法による一戸建て木造

住宅で3階建て以下のもの
補助金額▼①診断4万5000円②補強プランの作成4万5000円※①②は原則セットでの申し込み（個人負担1万円）、過去に耐震診断を実施された方は②のみの受付可

耐震改修

対象者▼昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組工法、伝統的工法または枠組壁工法による一戸建て木造住宅の所有者で、市税の納付が良好である方

対象工事▼改修後の診断評価が改修前の診断評価を上回る工事（その他にも要件があるためお問い合わせください）

補助金額▼（全体改修）一般住宅 最大80万円、伝統的な古民家 最大150万円、（部分改修）最大30万円※いずれも工事費の23%以内

申請・建設課（市民会館2階）

☎ 88・8107



ジオアリーナは災害発生時の防災拠点と位置付けられており、支援物資の集積拠点となっています。物資供給訓練（写真⑥）では、トラックで運ばれた支援物資を各避難所へ配布するための仕分け・運搬訓練が行われました。

その他にも、水防訓練や災害ボランティアセンターの設置・運営訓練、猪野瀬地区・遅羽地区で住民避難訓練など、全25種の訓練などが行われました。



地域住民も参加訓練で災害に備える
7月1日に勝山市で大雨による土砂災害と最大震度6強の地震が発生したと想定し、ジオアリーナ周辺などで総合防災訓練が行われました。
当日は地域住民や消防団、消防署、市職員および関係機関など合わせて約1000人が参加し、それぞれの持ち場で本番さながらの訓練を行いました。
今回の訓練では、防災行政無線を合図に地震の揺れに備えるシェイクアウト訓練（写真④）や起震車による震度6

